

## ケアポート板橋 三浦ルミ(管理栄養士)

功 績	往診歯科 医療法人社団明法会と経口維持加算取得に伴う多職種連携の中心となり、加算取得目標40名以上を継続取得。(I400単位/月・II100単位/月) 取り組みの効果もあり、誤嚥性肺炎での入院は0件を継続しており、入院件数減に貢献しております。その取り組みは学会発表に相応しいと日本有病者歯科医療学会にて推薦して頂き、口演発表の機会を頂きました。残念ながらCOVID-19の影響にて発表することはできませんでしたが、この度紙面発表にて掲載の運びとなった功績。
推 薦 者	宇津木忠(施設長)
推 薦 理 由	多職種連携を主導し、安定した加算取得の実現及び唯一の高齢者施設による学会発表にエントリーできたことは、介護業界においても模範となる事例となりました。 また、コロナ禍においても食支援の重要性を説き、チームを引率する管理者としての役割を果たしている三浦の行動は利用者さんの楽しみに繋げることが出来ております。理事長賞に相応しい事例であると思い推薦させていただきます。

### 内 容

---

ケアポート板橋はH28年のTQM活動をきっかけに、口腔ケアに力を入れて参りました。個別治療・口腔内環境改善・加算取得対応と目的を分け、往診歯科3社と連携させて頂いております。その中で経口維持加算算定に伴う要件に管理栄養士の役割は非常に重要であり、三浦は中核的な役割を担っております。

栄養課管理者としての役割のみならず、栄養マネジメントや口腔衛生管理体制加算、療養食加算に加え、経口維持加算取得においては週1回のミールラウンドや経口維持計画作成など、多忙な業務の中、確実に加算取得を実現してくれています。

多職種会議の場において、医療法人社団明法会高山理事長より「誤嚥性肺炎での減少率とこの取り組みは、学会発表した方が良い」とお声をかけて頂き、加算取得を開始した平成28年度1月から令和元年度12月までの4年間、各年の平均年齢・入退居数・男女比・介護度・入院数を調べ、特に肺炎による入院日数が平成28年に135日であったものが令和元年には0名となった症例発表を作り上げました。

令和2年3月1日に第29回日本有病者歯科医療学会学術大会において発表予定でしたが、残念ながらCOVID-19の影響にて発表することはできませんでした。この度紙面発表にて掲載の運びとなり、介護老人福祉施設として唯一の論文掲載となりました。